

予算特別委員会審査から②

ハーバーランドからHAT神戸に至るウォーターフロント地域は、神戸港の中心として神戸経済の発展をけん引してきた重要な地域です。現在神戸市は、都心三宮地域と一体にウォーターフロント再整備計画を進めていますが、特定の民間事業者や特定の利用者などが想定された事業が多く、市民の要求に基づいたものとはいえません。山本議員は「今検討されているマリーナなどは、限られた人々が対象で空間を広く市民が共有できない。市民とともに神戸の歴史を積み上げてきたのがウォーターフロント地域だ。観光客や企業呼び込み型の消費に期待するのではなく、広く市民の意見を聞き、市民参加を保障した再開発のあり方や計画

質疑項目

1. カーボンニュートラルポートについて
2. ウォーターフロント再整備について
3. 須磨海岸の活用のあり方について

へと見直すべき」と質しました。

答弁ダイジェスト

山本議員：事業者は採算ベースで判断するので事業者ベースの再開発になっていく。ウォーターフロント地域は市民の財産だ。再開発であっても市民に開放され、還元されなければならない。対価を払ったものしか享受できないのは問題だ。

加島担当局長：街の魅力の向上、神戸経済の成長につなげるのを目的に、民間活力を最大限活用して進めている。市民も外来者も海、潮を感じられるようなエリアを目指している。ポートミュージアムができて、人の流れが約5倍増加しているなど、効果がはっきりみとれる。

3月2日
ウォーターフロント地域は
市民の財産だ！
港湾局審査で山本議員



質問する山本じゅんじ議員

山本議員：神戸港の魅力観光に生かすのは大事だが、神戸が培ってきた独自性が生かされていない。ただ来街者を増やすためだけの今の再開発計画には納得いかない。

3月3日

市民と地球の未来を守る、
神戸市として責任ある温暖化対策を
環境局審査で西議員



質問する西ただす議員

地球温暖化対策は喫緊の課題です。2050年までにCO₂実質排出量をゼロにするため世界でも様々な取り組みがなされていますが、灘区では神戸製鋼所が火力発電3号機を運転し、年度中に4号機を動かそうとしています。1～4号機で

1. 温暖化対策について
2. アスベスト飛散防止対策について

質疑項目

市民が年間排出するCO₂を越えるCO₂が排出されることとなります。議員団は市民から「世界の流れに背を向け、公害を広げる石炭火力はやめよ」と声が上がっているこの神鋼火力発電所にたいし強く廃止を求めています。今回の予算特別委員会でも神戸市は「最新の高炉だからCO₂排出量は少ない。神鋼火力発電所が輩出している部分は国全体のCO₂として分かち合うもので、神戸市の算定量にははまらない」と市民の生活や健康を鑑みない無責任な答弁に終始しました。今回の予算では地球温暖化防止実行計画を改定するとしていますが、市全体の大きな数字目標だけで具体的な計画は出し

ませんでした。西議員は「川崎市では部門毎に目標をたてており明確だ。神戸市も具体的な形にすべき。神戸市の実行計画骨子では『産業・業務部門は市内温室効果ガス排出量半分近くをしめるので最重要』とある。だとすれば、今の段階で明確な目標を示すべきだ」と質しました。

答弁ダイジェスト

中村環境保全部長：考えてはいるが、国自身も目安でしか提示されていない状況だ。どの分野でどれだけ削減をやっていくかというのは検討していきたい。

西議員：国はそうでも川崎市はやっている。神戸も、この街をどうするかという観点でやるのはあたり前。はっきり形を示し意識をもって取り組むべきだ。

ぜひご視聴ください

森本真議員が一般質問

日時 3月29日(火)13時30分頃から 場所 市議会本会議場

時間が前後する可能性がありますので、余裕をもってご覧ください

ご視聴はこちらから



神戸市は、7000戸以上の市営住宅を削減する計画を進めています。コロナ禍で貧困と格差が広がり、市営住宅への入居希望者が増えています。しかし、市が提供しているコロナ対応の住宅は、東部（東灘区・灘区・中央区）以外の区から37戸しかなく、現在入居しているのはわずか22戸です。林議員は「戸数が少なすぎる。今こそ市営住宅を増やして、入居しやすくすることが求められる」と指摘し、削減計画は中止して住宅困窮者の方々に提供できる住居の確保を早急におこなうよう求めました。

3月4日

コロナに便乗した 市民サービスの切り捨てやめよ 交通局審査で松本議員



質問する松本のり子議員

神戸市は、コロナウイルス感染拡大に伴い、市バスの利用者が減少したことで、来年度の市バスの減便やダイヤ改正をおこないました。減少した運行本数は286本と全体の5%にもなりません。減便した路線の中には、舞子高校、伊川谷高校などの通学の生徒が利用している路線もあります。また、バスでしか駅や買物

保護者や市民の“子どもひとりひとりを大事にしたい”という願いと、少人数学級を求めるねばり強い取り組みの成果により、国は40年ぶりに小学校の学級規模を40人学級から35人学級へ段階的に進めるよう法律を改正しました。5年間かけて進めることになっていますが、朝倉議員は「コロナ禍の今、子どもたちは我慢させられ、しんどい思いを抱えている。教員を増やすことで多忙化も解消できる。少人数学級は急務だ」と、前倒しで進めるよう求めました。

答弁ダイジェスト

朝倉議員：文科省資料では、日本の教職員の1週間あたりの労働時間はOECD加盟国で比べると最長だ。市の外部監査を見ると神戸市の教員の時間外勤務は、特に中学校は全国平均を上回り、精神疾

- 質疑項目**
1. 市営住宅問題について
 2. 住まいに関する総合支援について

答弁ダイジェスト

根岸局長：我々の方から入居をお断りしたことはない。市民の感情を考慮して人気の高い住宅は対象から外している。

林議員：便利などにあるとは思えない。解雇されて職を失い、国民健康保険に移された方は2020年度で4856人もいる。削減計画で潰すために空けている住宅があるのだから、募集戸数を増やすべきだ。

根岸局長：お困りの方には支援をしていきたい。(削減計画の対象住宅に)入っていただいてもすぐ移っていただいたり工事をしたりということになるので、募集を停止している。

林議員：市民の声に寄りそって削減計

- 質疑項目**
1. バスの減便について
 2. 駅構内・車内・バスの痴漢対策の取り組みについて
 3. 交通振興の運転士の雇用確保について

に行けないような地域もあり、市民の生活に影響が出ています。松本議員は、コロナに便乗した減便はすべきではないと質しました。

答弁ダイジェスト

大岩根自動車部長：減便はコロナの影響による減少に対応するもので、コロナ前に利用者が戻った路線は、再度増便など見直しを検討する。

松本議員：前年度よりも一般会計からの繰入れが5億円多く入っているのに5%も減便するというのはおかしいのでは

- 質疑項目**
1. 学校園でのコロナ対策について
 2. 少人数学級について
 3. 八多小・中学校の義務教育学校への移行について
 4. 港島学園の施設改修について

患で休職する教員の数も増えている。こういう状況で子どもたちに向き合うのは非常に困難。一番の被害者は子どもたちだ。思い切って教員を増やし、少人数学級に踏み出すべき。子どもたちの学びを豊かに保障すること、教員の多忙化を解消すること、少人数学級はまさに一石二鳥だ。

長谷川事務局長：たしかに学校現場では教員の多忙化認識している。令和にふさわしい業務のあり方について組織的に検討している。勤務時間を短くするのは人を増やせばいいのではなく、業務のあり方をゼロベースで見つめなおして、知恵と工夫で働きやすい職場づくりに取り組

3月3日

コロナ禍で苦しむ市民のために 市営住宅の確保早急に！ 建築住宅局審査で林議員



質問する林まさひと議員

画は中止し、困っている方のために住居を確保すべきだ。

ないか。

習田副局長：一般会計からも支援してもらっているが、あくまでこれは利用者の減少分をお願いしているものだ。

松本議員：バス会計には事業所の建て替えや車両の更新のための負債が含まれている。直接市民に関係のない負債のために市民の足を削ることは納得できない。また、乗車収入に対しての敬老パスの負担金が多いのは、それだけ高齢者や交通弱者が乗っているということだ。市民の暮らしを守っていくために、減便をやめて早く元に戻すべきだ。

3月4日

コロナ禍の今、 少人数学級は急務！ 教育委員会審査で朝倉議員



質問する朝倉えつ子議員

んでいく。

朝倉議員：ある中学校では超過勤務を知らせながらやっているが、改善できていない。業務の改善でなく人を増やす以外この状況は変えられない。子どもたちの学びにしっかりとお金を使うのは当然のことだ。あらゆる努力を尽くして前倒しで少人数学級を進めるべき。